

白星会2015年度総会・講演会報告

2015年5月23日（土）東工大ホームカミングデイ（HCD）において機械系同窓会白星会の総会と講演会が大岡山キャンパス内にて開催されました。白星会は、会員数が約1万2千人の大きな同窓会であり、会員の親睦及び東工大機械系学生の支援を中心に活動を展開しています。総会には69人（委任状含む）の会員が参加して、2014年度小俣一夫会長から2014年度の活動報告・収支決算報告を、井上博文監査役から会計監査報告があり、出席者の承認を頂きました。次に、2015年度の新体制の提案を行い、小川博新会長と52人の幹事他が満場の拍手で承認されました。その後、小川新会長により2015年度の活動計画と予算の説明があり、出席者の承認を頂きました。最後に、木村康治副会長（2014年度）より東工大機械系からの報告がなされました。

総会終了後、小川新会長による「世界最大のLNGプラント建設プロジェクト」と題する講演が行われました。講演の内容は、海外におけるLNGプラントの建設経験を踏まえてフランスのエンジニアリング企業と共同で建設した世界最大のLNGプラントのお話でした。その中で、フランスと日本との文化・ビジネスの違い、プロジェクトマネジメントの苦勞、日本のエンジニアリング会社の強さ等興味深い話を紹介して頂きました。講演会終了後は、それぞれHCDを楽しみ全体交流会に集結して同窓生の親睦を大いに深めることが出来ました。



（文責：大和田政孝）